

2026年5月



学生の制作する音楽録音作品コンテスト

作品募集のお知らせ

日本オーディオ協会は、若い皆さんの柔軟な発想を生かした魅力ある「音楽録音作品」の登場に期待し、今年も“学生の制作する音楽録音作品コンテスト”を開催いたします。

“学生の制作する音楽録音作品コンテスト [ReC♪ST]”も、今年で12回目を迎え、年々完成度の高い作品に触れる機会が増えてきており、皆様の制作された素晴らしい作品をご披露頂けることを楽しみにしております。トーマス・エジソンが蓄音機を発明して初めて音を記録した12月6日「音の日」に表彰式を行います。今年も12月4日に表彰式を行います。

日本オーディオ協会は、未来のある若者に投資し、このReC♪STを通じてオーディオ文化を広め、楽しさと人間性にあふれた社会を創造し、健全な音楽録音ならびに再生の発展を強く期待しております。

奮ってのご応募をお願いいたします。

以上

一般社団法人日本オーディオ協会
会長 小川 理子

“学生の制作する音楽録音作品コンテスト”事務局

TEL 03-3448-1206 / FAX 03-3448-1207

e-mail: jas@jas-audio.or.jp

募 集 要 項

1. コンテストの名称：ReC♪ST “学生の制作する音楽録音作品コンテスト”

2. 主催：一般社団法人日本オーディオ協会
共催：AES 日本学生支部
協力：一般社団法人 AES 日本支部
後援：一般社団法人日本音楽スタジオ協会

3. コンテストの概要
応募要項に示す形で応募された作品について、専門家からなる審査委員会にて厳格な審査を行い、優秀作品を発表し作者の努力を表彰します。

4. 応募資格：「音楽録音を学んでいる学生の個人またはグループ」（専門学校以上の学生）。および、2026年3月卒業された方（応募作品は、在学中に制作した作品に限ります）

5. 応募作品の権利処理
応募作品の権利はそのまま応募者に所属します。日本オーディオ協会では、作品制作や録音過程で生じる著作権処理などは行いません。著作権者、著作隣接権者の許諾を必要とする作品については、応募者が個々に処理してください。日本オーディオ協会では、本コンテストの審査発表会で応募作品を再生する際に必要な事務処理についてのみ行います。応募作品を再生する際に必要な使用料など処理すべき内容を応募用紙に記入してください。著作権、著作隣接権について疑問のある方は、著作権団体にお問い合わせください。他人の作品の無断使用や権利者に迷惑の掛かる行為が無いよう、くれぐれもご注意ください。

6. 応募期間等
 - ・ 応募期間：2026年7月1日(水)～2026年10月9日(金) 必着
 - ・ 応募作品制作期間：2025年10月10日(前回は応募締切日)以降制作もしくは完成のものとしします。尚、この制作期間であれば、卒業制作作品等、在学中に作成された卒業生の作品も対象としします。また、未発表の作品に限ります。
 - ・ 応募作品数：応募作品は、1個人または1グループにつき1作品としします。
 - ・ また同一の演奏を別な作品として応募することはできません。

7. 提出書類
 - ① 応募申込用紙
 - ② 録音制作企画書

8. 提出録音音源（リニア PCM）

- ① 2ch ステレオ（バイノーラル録音含む）の場合：ステレオインターリーブ WAV ファイル
- ② 5.1/5.0ch サラウンドの場合：各チャンネル名を明記した WAV ファイル
（例：○○.LF.wav, ○○.RF.wav, ○○.C.wav,
○○.LFE.wav, ○○.LS.wav, ○○.RS.wav）
注；LFE 0 もしくは +10 dB を明記のこと
- ③ マルチチャンネルの作品フォーマットは、ITU-R BS. 2159-9 の規定に沿ったものとし、チャンネル数は 22.2ch までとする。（24.2ch や 27.2ch の作品は 22.2ch に変換して提出してください）
- ④ Dolby ATMOS の場合は、Audio Definition Model Broadcast Wave Format（ADM BWF）ファイルでの提出をお願いいたします。また、サンプリング周波数、ビット数、チャンネル数の表記をお願いいたします。
- ⑤ 360 Reality Audio 音源の場合は、360 WalkMix Creator など Export された Master ADM ファイルでの提出をお願いいたします。また、サンプリング周波数、ビット数、チャンネル数の表記をお願いいたします。
- ⑥ 長尺の作品の場合は、聴きどころの時間を 0:00～3:00 等で表記をお願いいたします。
- ⑦ 上記以外の作品については、審査試聴環境確認のため事務局迄ご相談ください。

9. AI 技術の利用について

録音・ミキシング・マスタリング等のエンジニアリング工程における AI 技術の使用は禁止とします。

また、作詞・作曲・編曲・演奏等において AI 技術を使用した場合、あるいは AI 技術により生成された音源を使用した場合は、その制作工程・使用したツール・指示プロンプトの内容などを企画書にご記載ください。

10. 応募方法

「第 12 回 学生の制作する音楽録音作品コンテスト」作品募集ページ内「応募はこちらから」ボタンより応募フォームに必要事項をご入力の上、エントリーを行ってください。

折り返し担当者より応募書類及び作品の提出方法をご案内いたします。

作品募集ページ

<https://www.jas-audio.or.jp/sound-day/contest/contest-requirement>

11. 審査委員

亀川 徹	東京藝術大学 音楽学部 音楽環境創造科
長江 和哉	名古屋芸術大学 芸術学部 芸術学科音楽領域
柿崎 景二	尚美学園大学 芸術情報学部 情報表現学科
我妻 拓	日本工学院専門学校
徳永 宏	洗足学園音楽大学 音楽学部 音楽音響デザインコース
上埜 嘉雄	Audio Engineering Society 日本支部
河原 一彦	九州大学大学院 芸術工学研究院 音響設計部門
峯岸 良行	レコーディングエンジニア (Prime sound studio form)
高柳 欽也	レコーディングエンジニア (フリーランス)

順不同・敬称略・2026年5月現在

12. 表彰内容

このコンテストは、企画制作力と録音技術力について競うもので、応募作品から優秀作品を表彰いたします。また録音技術力にはDTM (DAW) ソフトを使用した作品の制作技術力も含まれます。

13. 表彰式について

- ・応募者は「音の日」イベントにご招待します (2026年は12月4日(金)に行います)。イベントの中で表彰式が行われ、表彰者には、賞状と副賞が贈呈されます。
- ・応募された作品には参加賞をもれなく贈呈します。(1個人または1グループにつき1つ)

14. 日本オーディオ協会、および、「学生の制作する音楽録音作品コンテスト」のホームページをご参照ください。

- ・日本オーディオ協会ホームページ
<https://www.jas-audio.or.jp/>
- ・「学生の制作する音楽録音作品コンテスト」ホームページ
<https://www.jas-audio.or.jp/sound-day/contest>